

富加町

地震防災マップ

大地震に備え

住宅や建築物などの耐震化を

富加町は、今後30年以内に50～60%の確率で発生するとされる東南海・南海地震に係わる地震防災対策推進地域に指定されています。
また、近年、新潟県中越地震(H16)、福岡県西方沖地震(H17)、能登半島地震(H19)など、これまでに地震の可能性が低いと言われた地域で大規模な地震が発生しています。
そこで、町民の皆様が富加町に対して影響を及ぼすと思われる地震についての知識、及び地域での防災や耐震化への取り組みなど、地震に対する日ごろの備えをしていただくために、「地震防災マップ」を作成しました。

この地震防災マップは、「地震防災マップ作成技術資料」内閣府(平成17年3月)を基にして作成しております。

うら面 危険度マップ(建物全壊率)

- 富加町の地域危険度
- 住宅の耐震診断が重要です
- 地震時の心得
- 家族の安全を守るために
- 緊急地震速報

おもて面 揺れやすさマップ(最大震度分布図)

- 富加町の揺れやすさ(予測される震度)
- 想定した地震
- 震度と予想される現象
- 日ごろの備え
- いざというときの連絡先

防災全般についてご不明な点は、富加町役場総務課までお問い合わせください。
富加町役場 総務課 TEL 54-2111 FAX 54-2461 e-mail soumu@town.tomika.lg.jp

揺れやすさマップ

(最大震度分布図)

発生した場合に、富加町に対して大きな被害が予想される3ケースの大規模地震について、揺れの大きさを予測した「揺れやすさマップ」を作成しました。

1. 阿寺断層帯による地震
2. 複合型東海地震
3. 全国どこでも起こりうる直下の地震

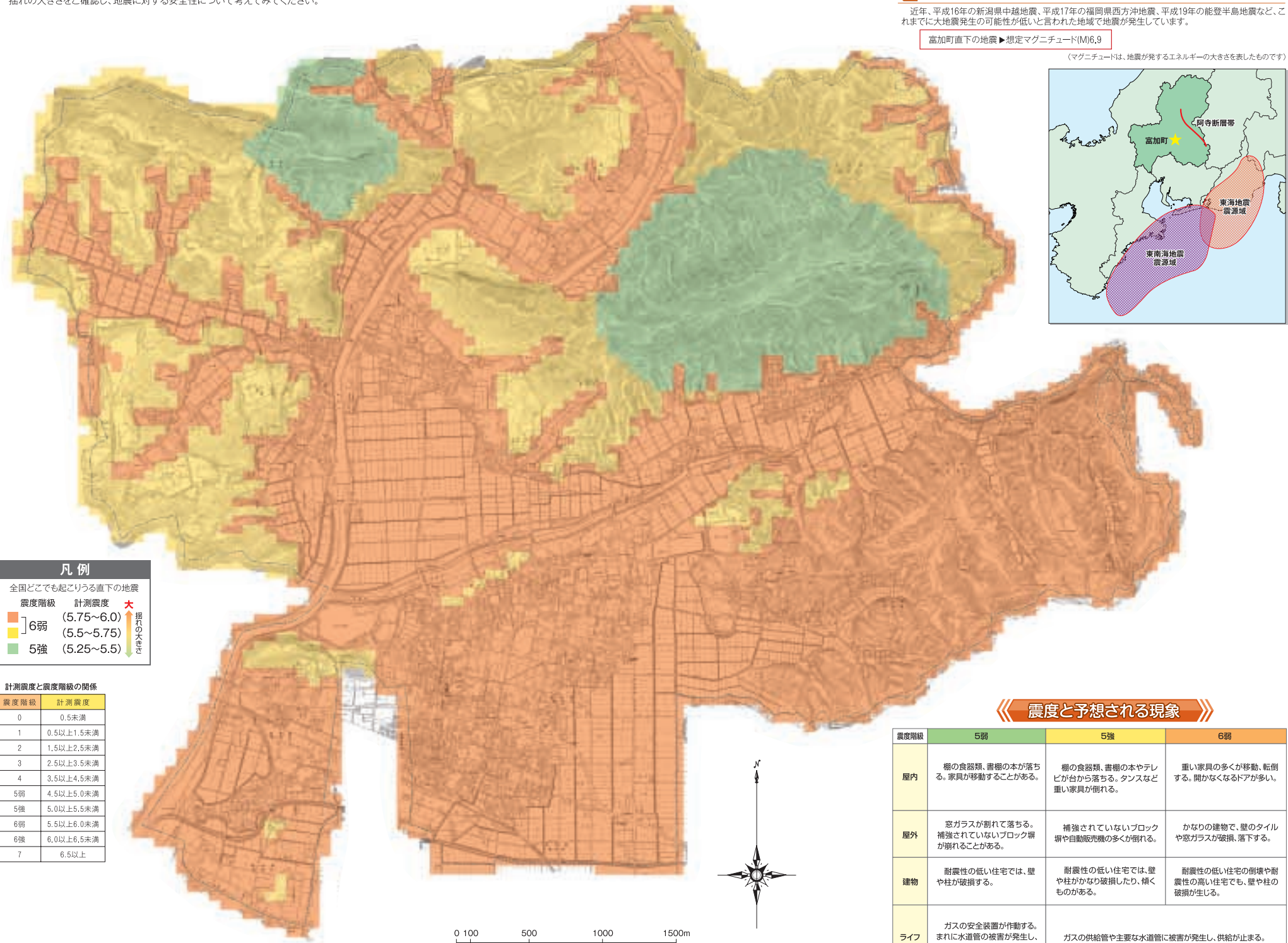
地盤の揺れの大きさは、地形や地盤の状況をモデル化して算出し、計測震度と呼ばれる指標で表しています。

想定した3ケースの地震の内、「全国どこでも起こりうる直下の地震」が、富加町では最も大きな揺れとなります。地図上には、この地震により予測される計測震度を一辺が約50mのメッシュ毎に着色しています。

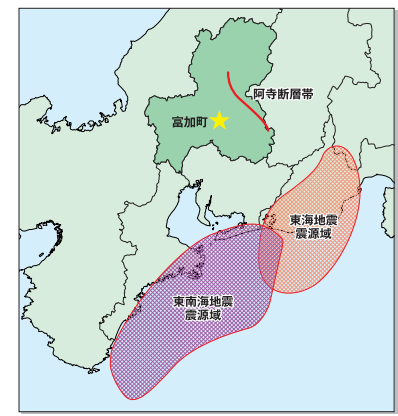
この「揺れやすさマップ」をご覧になって、皆様がお住まいの場所やよく行かれる場所などの揺れの大きさをご確認し、地震に対する安全性について考えてみてください。

富加町の揺れやすさ

岩盤(中・古生層)が分布する山間部では、震度5強～震度6弱の揺れが予測されます。一方、津保川沿いの谷底平野や砂礫台地、あるいは岩盤と比較するとやや新しい地層(新第三紀層)が分布する南東部の丘陵では、震度6弱の比較的強い揺れが予測されます。



(マグニチュードは、地震が発生するエネルギーの大きさを表したものです)



凡例	
全国どこでも起こりうる直下の地震	
震度階級	計測震度
6弱	(5.75～6.0)
5強	(5.5～5.75)
5強	(5.25～5.5)

計測震度と震度階級の関係	
震度階級	計測震度
0	0.5未満
1	0.5以上1.5未満
2	1.5以上2.5未満
3	2.5以上3.5未満
4	3.5以上4.5未満
5弱	4.5以上5.0未満
5強	5.0以上5.5未満
6弱	5.5以上6.0未満
6強	6.0以上6.5未満
7	6.5以上

日ごろの備え

避難生活最初の約3日間は、自力で生活することになるかもしれません。何をどれだけ準備しておけばよいが、家族で話し合ってみましょう。

非常持出品
避難時にまず持ち出す

●生活用品
□衣類・下着 □タオル □ティッシュ
□懐中電灯 □携帯ラジオ・予備乾電池など

●貴重品
□現金(要10円玉) □通帳・印鑑
□権利証書 □健康保険証など

●非常食関係
□飲料水 □乾パン
□紙皿など食器 □缶切りなど

●救急医療品
□傷薬・包帯・ばんそうこう
□かぜ薬・胃腸薬など

非常備蓄品
災害復旧までの数日間(最低3日)分準備する

●生活用品
□毛布・寝袋 □新聞紙 □洗面用具
□鍋・やかん □トイレトイレットペーパー
□筆記用具・バケツなど

●非常食
□飲料水(1人1日3リットルを目安に)
□保存食(缶詰やレトルト食品など)
□チョコレートなどの菓子類
□調味料など

●燃料
□卓上コンロ □携帯コンロ
□ガスボンベ □固形燃料など

富加町役場(代表番号)	54-2111
加茂警察署富加警察官駐在所	54-3145
可茂消防事務組合富加出張所	54-2714

家族や親戚などの連絡先	名前	勤務先・学校等	電話番号	備考

避難先	名称	電話番号	備考

平成20年3月作成

想定した地震

- 阿寺断層帯による地震**
阿寺断層帯は、下呂市から中津川市北東部に至る断層帯です。全体の長さは約70kmで、概ね北西-南東方向に延びています。下呂市の北側に位置する北部と、郡上市から中津川市北東部にかけて延びる南部に区分されます。
北部▶想定マグニチュード(M) 6.9程度 今後30年以内の発生確率 6～11%
南部▶想定マグニチュード(M) 7.8程度 今後30年以内の発生確率はほぼ 0%
- 複合型東海地震**
静岡県から愛知県の太平洋沖プレート境界で発生すると考えられている東海地震と東南海地震が同時に発生した場合(複合型東海地震)を想定しました。
東海地震▶想定マグニチュード(M)8クラス 今後30年以内の発生確率 87%(参考値)
東南海地震▶想定マグニチュード(M)8クラス 今後30年以内の発生確率 60～70%
- 全国どこでも起こりうる直下の地震**
近年、平成16年の新潟県中越地震、平成17年の福岡県西方沖地震、平成19年の能登半島地震など、これまでに大地震発生の可能性が低いと言われた地域で地震が発生しています。
富加町直下の地震▶想定マグニチュード(M)6.9

震度階級	震度と予想される現象		
	5弱	5強	6弱
屋内	棚の食器類、書棚の本が落ちる。家具が移動することがある。	棚の食器類、書棚の本やテレビが台から落ちる。タンスなど重い家具が倒れる。	重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
屋外	窓ガラスが割れて落ちる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	補強されていないブロック塀や自動販売機の多くが倒れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
建物	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損する。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い住宅の倒壊や耐震性の高い住宅でも、壁や柱の破損が生じる。
ライフライン	ガスの安全装置が作動する。まれに水道管の被害が発生し、断水する。	ガスの供給管や主要な水道管に被害が発生し、供給が止まる。	